



NEWS ECO

シブヤピピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681
URL <http://www.shibuya-p.com>

大須観音から「福は内、福は内・・・」の声が、通りをこえ、ビルをこえ、空の上から降ってきて、二月三日は節分。大須観音の寺宝が「鬼の面」であることから、「鬼は外」は禁句で、「福は内」の声だけが聞こえてきます。

節分の行事と言えば、最近「豆まき」よりも、「恵方巻き」。大きな太巻きを「恵方」に向かって、「丸かじり」するというもの。

3大都市圏における2010年の節分行事の実施率は、「恵方巻を食べた」(47.6%)が「豆まきをした」(43.7%)を上回ったそうです。

ちなみに恵方は、陰陽道で言う福の神「歳徳神(としとくじん)」がおられる方角ということで、今年「西南西やや西」ということです。

この「丸かぶり」は江戸時代後期に大阪で始まったと言われており、その後すたれたが、昭和40年代に大阪の海苔問屋協同組合とすし組合が連携し、復活にあたったとのこと。その後、「恵方巻き」と称し、平成10年に某コンビニが全国発売を始めたことを機に、全国に広まったとされています。



節分とは、「季節を分ける」ことを意味し、本来は立春、立夏、立秋、立冬の前日のことを言うのだそうです。立春が過ぎ、日差しに、こころなしか春の暖かさが感じられる今日この頃ですが、♪ 春は名のみの風の寒さや ♪ 吉丸一昌作詞・中田章作曲「早春賦」のとおりまだまだ寒い日も多くあります。第4四半期の忙しい時期、体調管理には十分注意してください。

地球温暖化が叫ばれる中、五感で感じられる季節と四季の行事・歌がいつまでも一体のものであることを願うばかりです。

《生物多様性》

1月にひきつづき、生物多様性と環境について考えてみましょう。生物多様性とそれを維持することの重要性を知り、私たちが今すべきことを考える機会にしてください。(参考資料:WWFジャパン特集サイト)

《多様な地球の自然》

生物の多様性とは、「生息数・種数が多ければいい」というものではありません。多様性の価値は、さまざまな景観(環境)がこの地球上に存在していることにあるのです。未来の地球の上で、多様な生命が生き残るためには、この多様な生態系と景観(環境)が欠かせないのです。

地域や気候によって変化する自然

地球上には、さまざまな生命が、気候や地形などの条件に応じて、多様な生態系を形作っています。太陽から多くの光を受ける熱帯林やサンゴ礁といった、暖かい地域では、種が多様に進化し、さまざまな生物が息づいています。また、海のように水温が低く、厳しい環境では、生物の種類が限られており、多様性が低くなっています。しかし、これらの環境では、種の数は少ないものの、個体数が多く、結果的にたくさんの生命が息づいている、という特徴があります。

限られた地域に息づく貴重な生物たち

高山帯や砂漠のように、気温が極端に低かったり、高かったり、また乾燥していたりする地域では、生物多様性、個体数のいずれもが少ないケースも見られます。これらの生物は、その限られた地域でしか見るものの出来ない、貴重な生態系を形作っており、その場所にしか生息していない、珍しい固有種も多く確認されています。このような環境に適応した特定の生物の中には、絶滅の危機に瀕している種も、少なくありません。これらの生物たちを守っていくためには、その生物が生きる生態系そのものを守る必要があります。

《生物多様性の重要性》

世界的な問題になりつつある、生物多様性の破壊。しかし、生物の多様性が、一人ひとりの生活に、どのようにかかわっているのかを実感するのは、難しいかもしれません。それでも、生物多様性が、私たち人類の生存に、大きくかかわっていることは、まぎれもない事実です。私たちは地球上のあらゆる生命が、「人間のためだけに存在しているわけではない」ということを知らなければなりません。

生態系サービス

地球上のあらゆる環境は、自然によって、形作られており、その中には、動物、植物、鉱物、といった、多くの要素が含まれています。衣・食・住に関わる、さまざまな資源がここから生み出されています。

森や海は、気候を安定させ、時には災害の被害を小さくする、防波堤の役割も果たしてくれます。2004年に起きたスマトラ島沖地震の際には、海辺のマングローブやサンゴ礁が津波のエネルギーを吸収し、被害を少なくした経済的価値(サービス)は、33兆ドル(約3,040兆円)と言われていました。アメリカのGDPが14兆ドル、世界全体のGDPが約60兆ドルであることを考えると、私たちが自然から、どれほど大きな恩恵を受けているのかが分かります。

健康と医療への恩恵

医療に関しても、生物多様性が果たしている役割があります。医薬品の中には、5万種から7万種もの植物由来のものがあります。海の生物から抽出される抗がん剤には、年間約10億ドルの利益を生み出し、薬草の取引も、年間430億ドルに達すると言われています。

多様な自然環境の中には、未発見の物質が、数多く存在しています。今、このさまざまな自然の恵みが、広く失われようとしています。人間は生物多様性が持っている自然の回復力、生産力を、25%も上回る規模で資源を消費し、枯渇させようとしているのです。それは、私たちが生物多様性から受けている恩恵を、自ら失うことであり、未来の可能性を閉ざしてしまうこととなります。

《ISO14001》

年間改善活動計画書 2月末までに年間改善活動計画書最終評価の提出

年間改善活動計画書の最終評価を行い、2月末までに提出してください。

- ① 改善効果が十分に認められた項目は効果が持続できるように努めてください
- ② 改善効果が不十分な項目は活動を見直し、達成に努めましょう

内部監査

3月中旬に内部監査を実施します
監査日程の調整等にご協力をお願いします

今年度から内部監査は年1回となりました。主に、1年間の活動を監査しますので昨年度まで以上に成果を中心に監査することになります。行動の成果、効果を数値や具体的事象で示すように資料の作成、データ分析を行ってください。今年度の活動の成果と反省を踏まえて、新年度の「年間改善活動計画書」を作成し5月に提出してください。

